

2009年3月期決算説明会

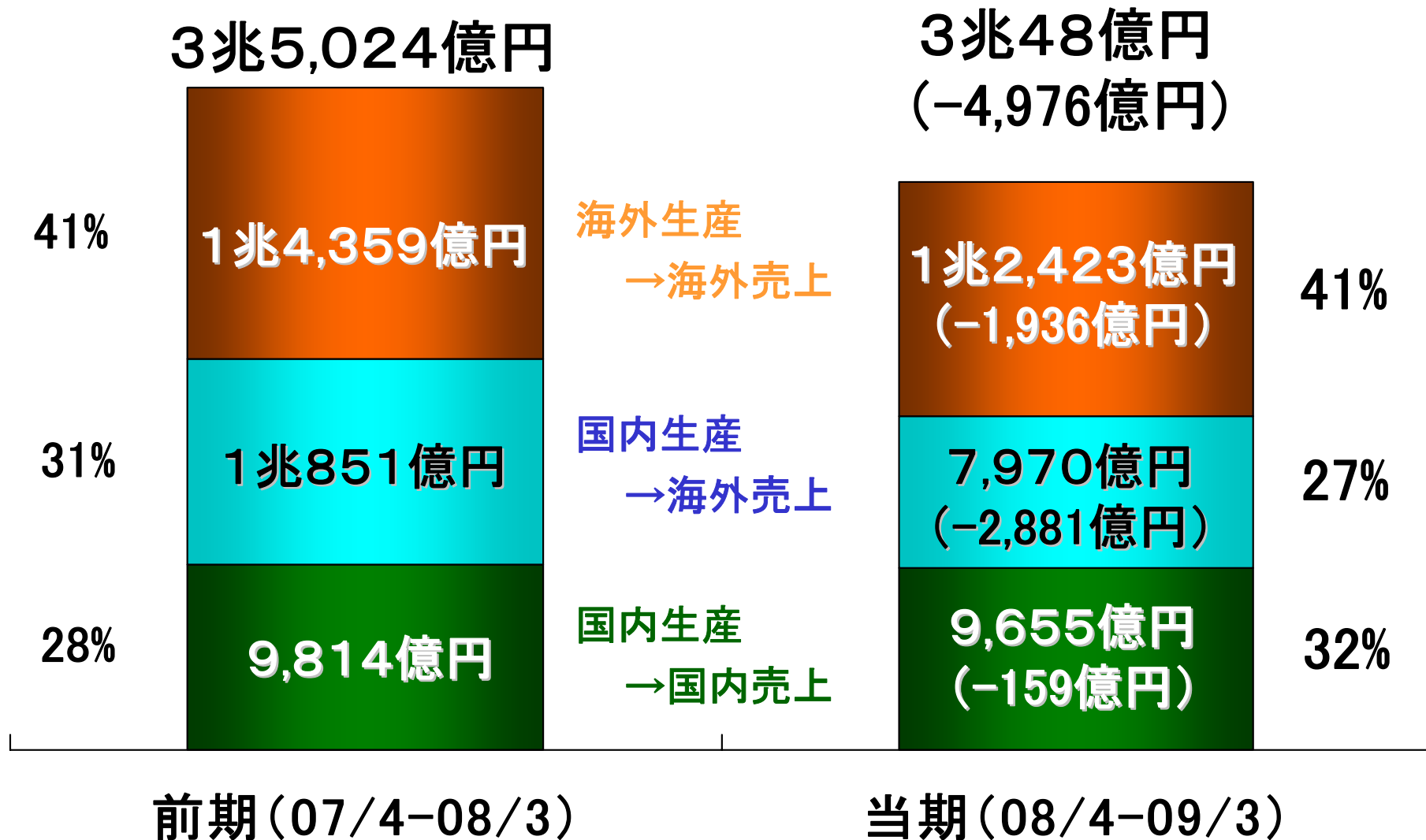


おかげさまでアルトは生誕30周年

スズキ株式会社

2009.5.11

	前期 (07/4~08/3)	当期 (08/4~09/3)	増減額	増減率
売上高	35,024億円	30,048億円	▲4,976億円	▲14.2%
営業利益 (利益率)	1,494億円 (4.3%)	769億円 (2.6%)	▲725億円	▲48.5%
経常利益 (利益率)	1,569億円 (4.5%)	797億円 (2.7%)	▲772億円	▲49.2%
当期純利益 (利益率)	803億円 (2.3%)	274億円 (0.9%)	▲529億円	▲65.8%



※金融事業を除く

(億円)

	二輪車	四輪車	特機等	合計	内、為替 換算影響
国内計	▲ 50	▲ 408	▲ 2	▲ 460	
海外計	▲ 1,327	▲ 3,395	▲ 97	▲ 4,819	▲ 3,137
欧州	▲ 629	▲ 1,147	▲ 51	▲ 1,827	▲ 842
北米	▲ 676	▲ 1,062	▲ 71	▲ 1,809	▲ 325
アジア	+ 45	▲ 1,021	+ 16	▲ 960	▲ 1,812
その他	▲ 67	▲ 165	+ 9	▲ 223	▲ 158
総合計	▲ 1,377	▲ 3,803	▲ 99	▲ 5,279	▲ 3,137

内、為替
換算影響

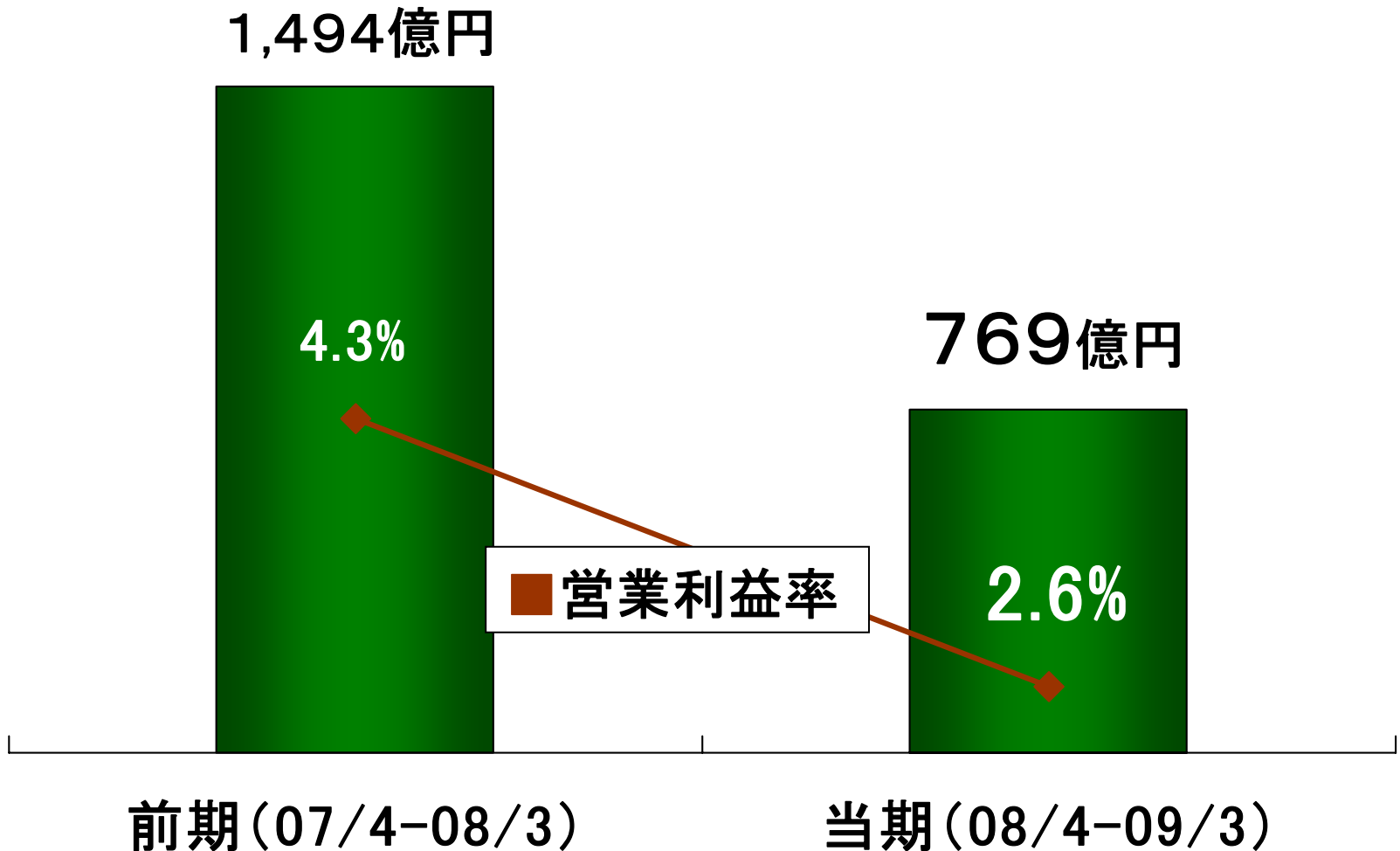
▲ 551

▲ 2,554

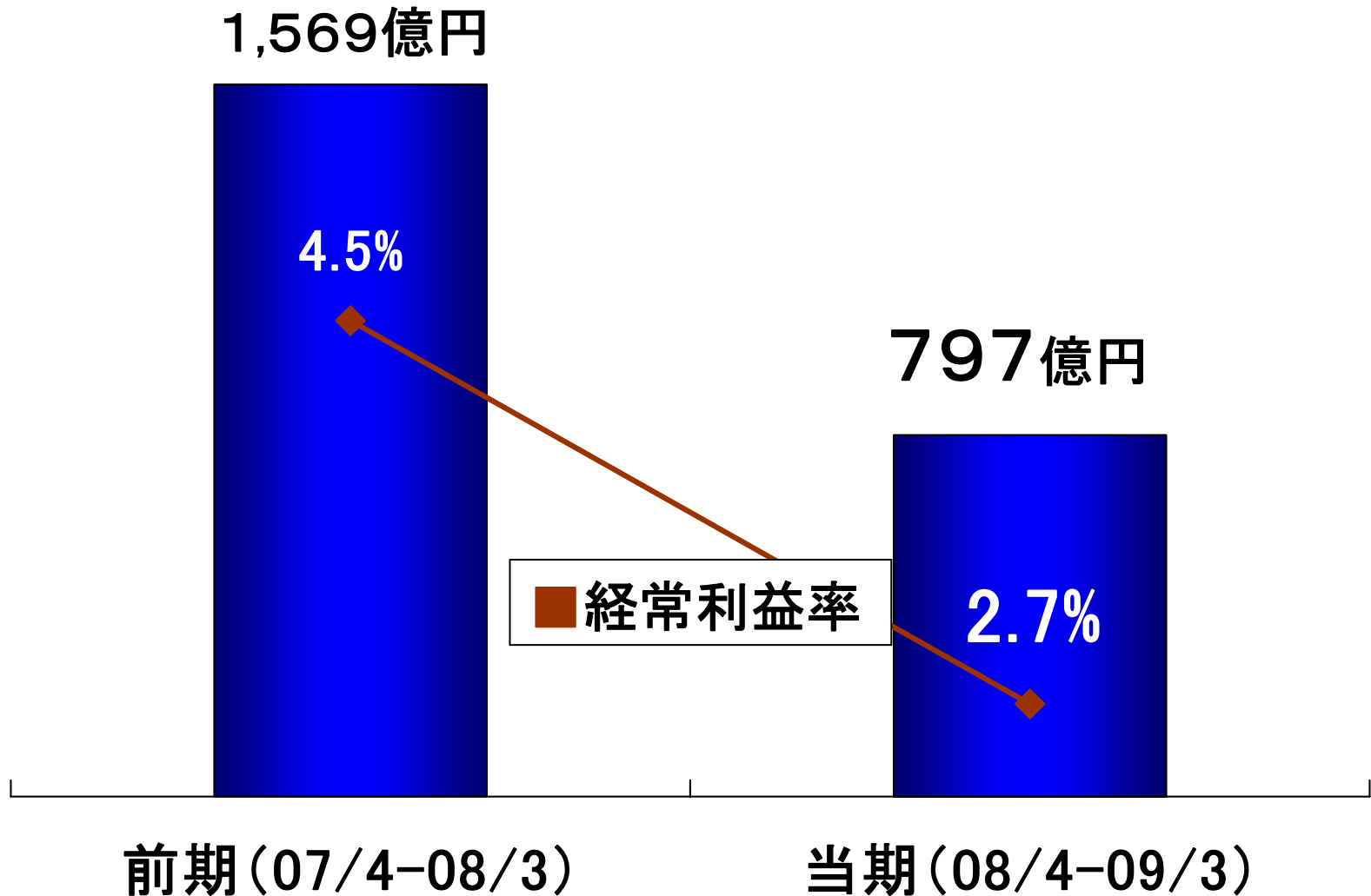
▲ 32

▲ 3,137

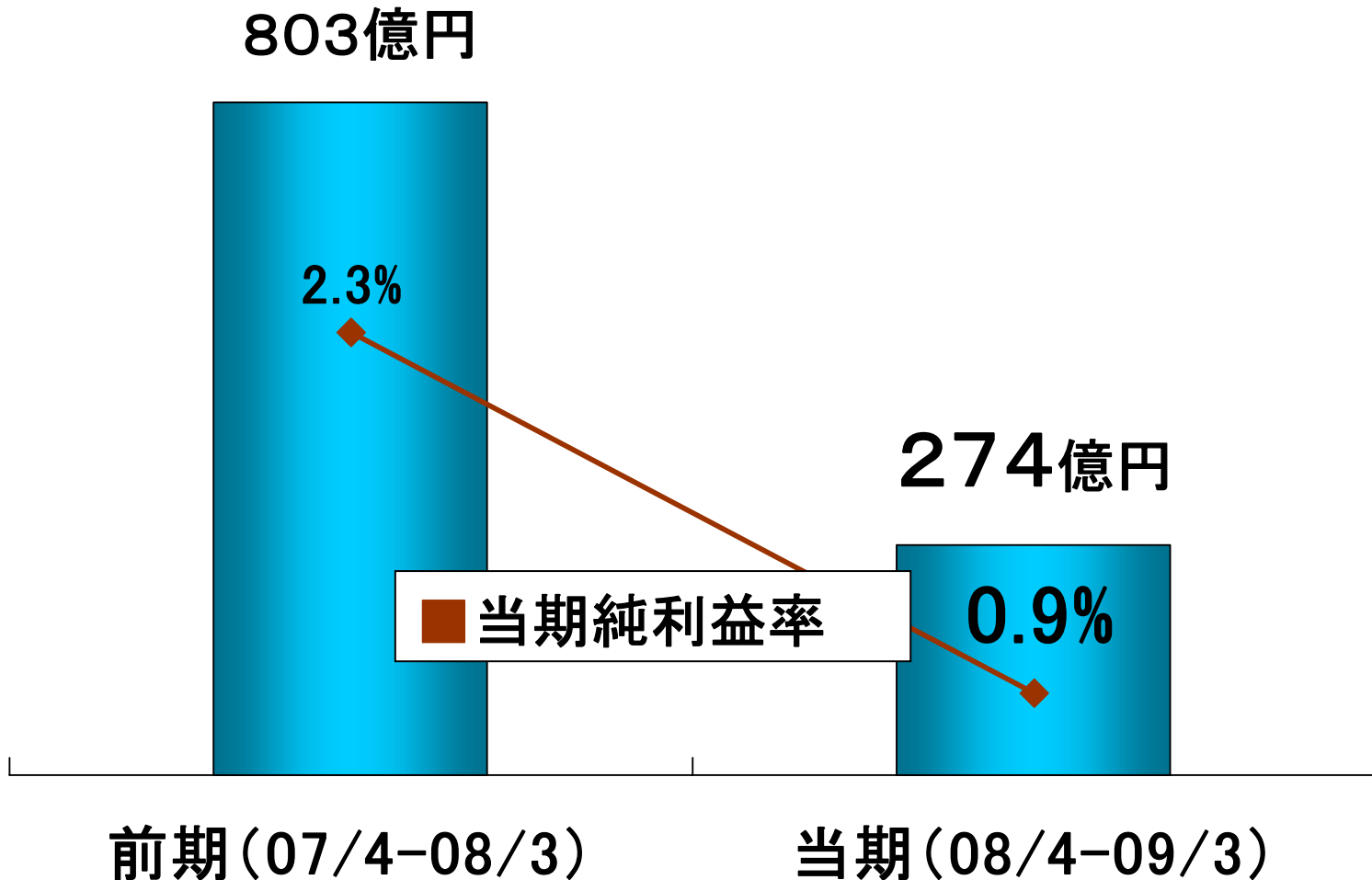
営業減益 725億円(-48.5%)

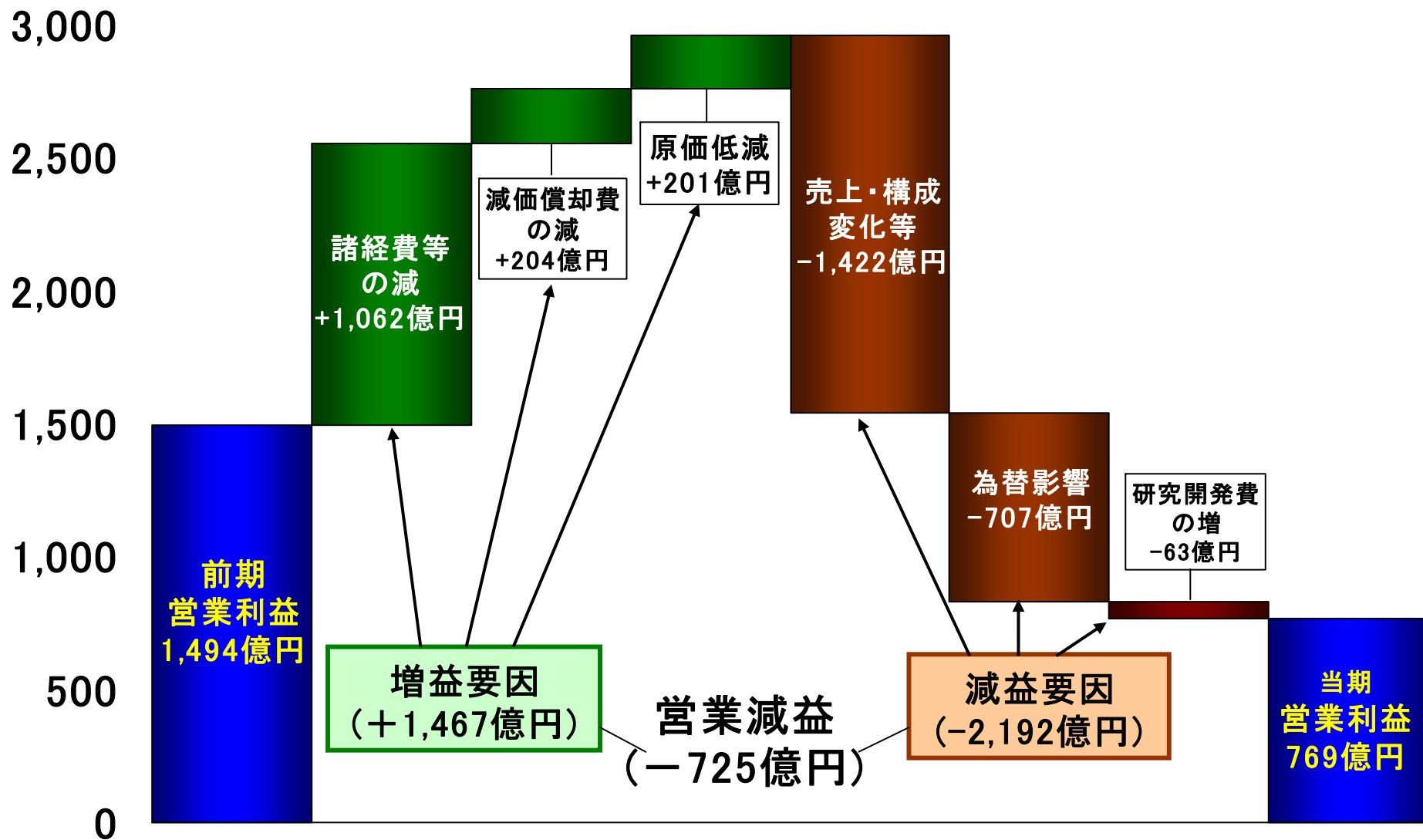


経常減益 772億円 (-49.2%)



減益 529億円 (-65.8%)



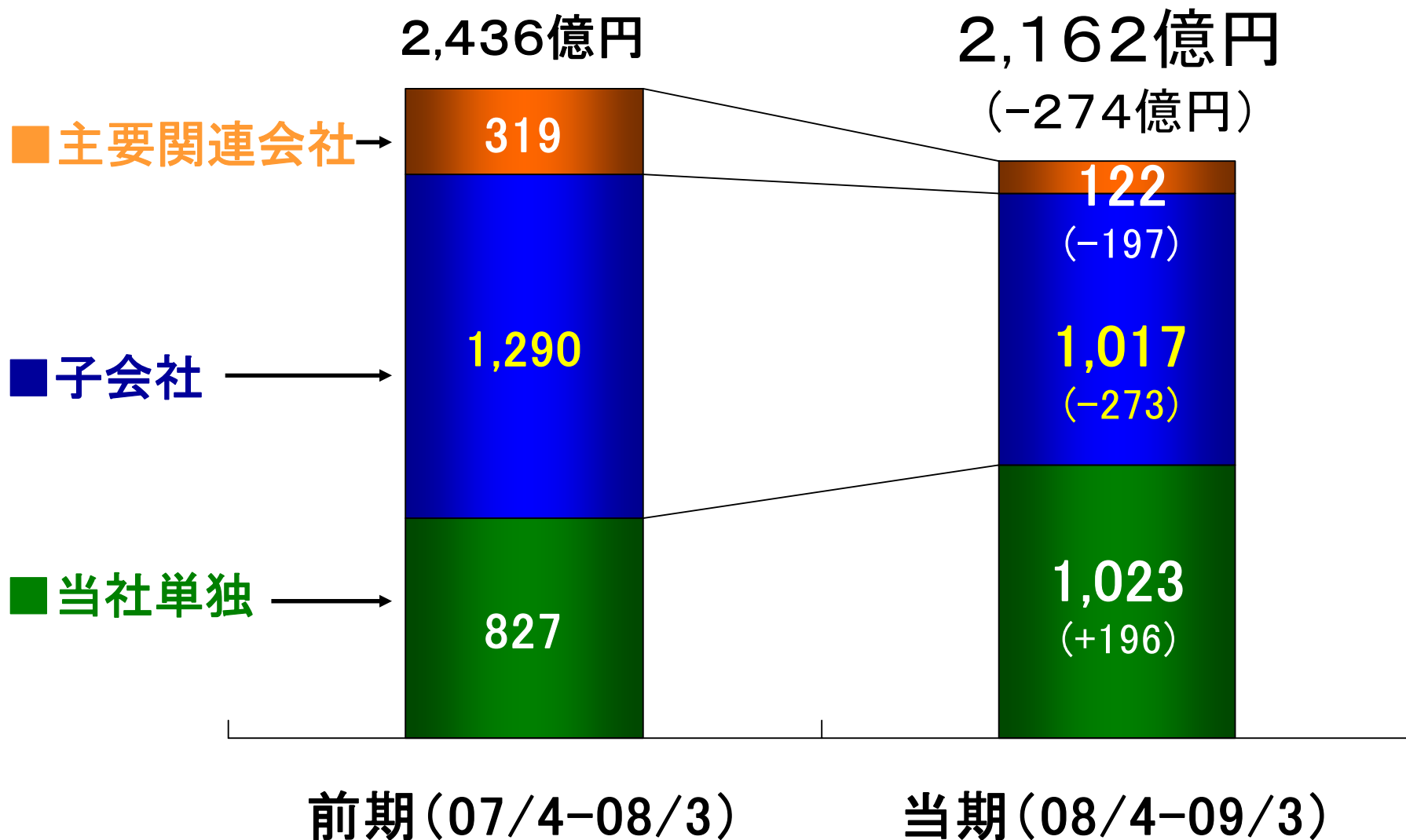


(売上・構成変化等には原材料影響▲356億円を含む)

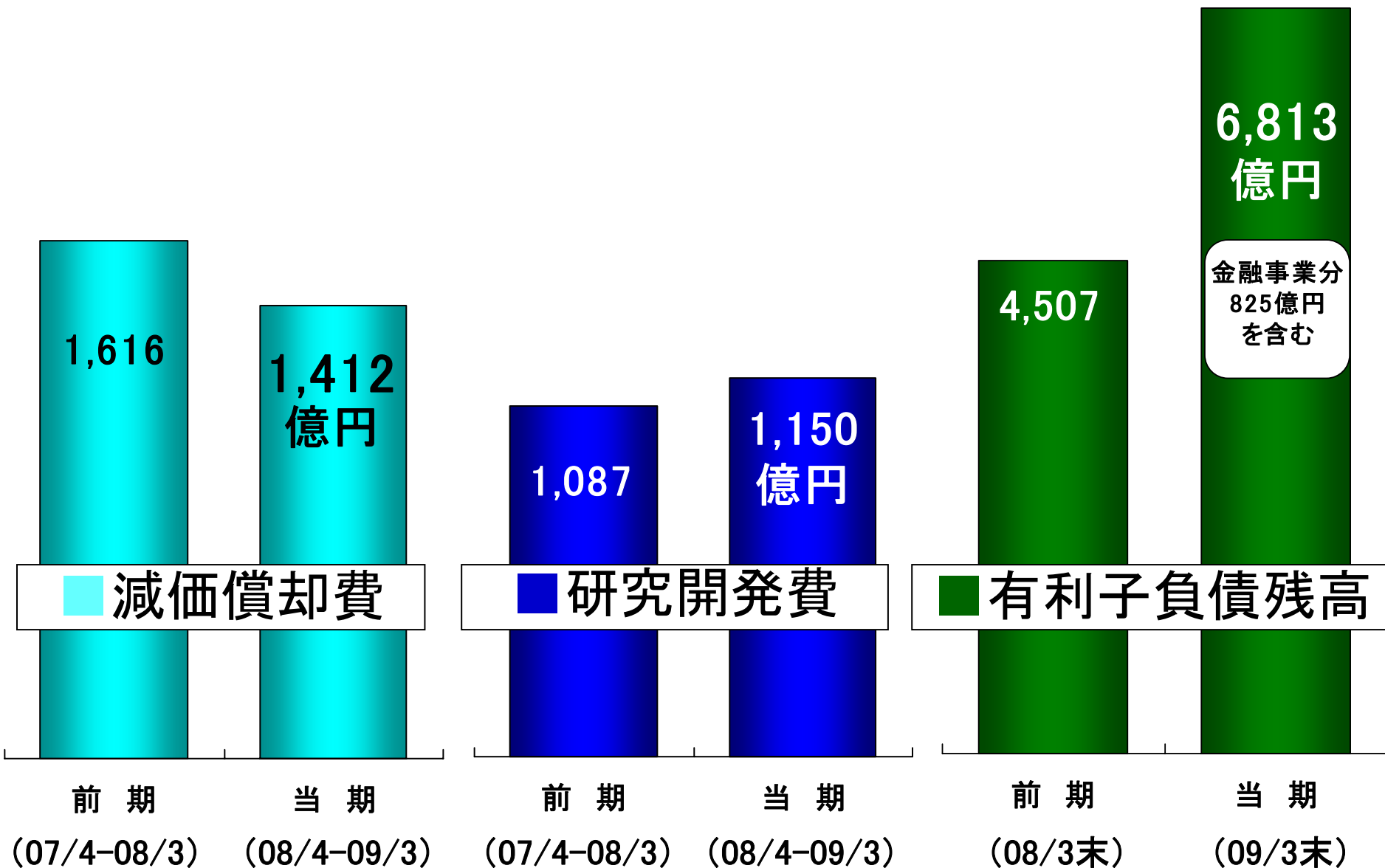
	ドル	ユーロ	その他
当期 (08/4-09/3)	101円	144円	—
前期 (07/4-08/3)	114円	160円	—
増減	-13円	-16円	—
為替影響	-86億円	-170億円	-451億円
	計	-707億円	

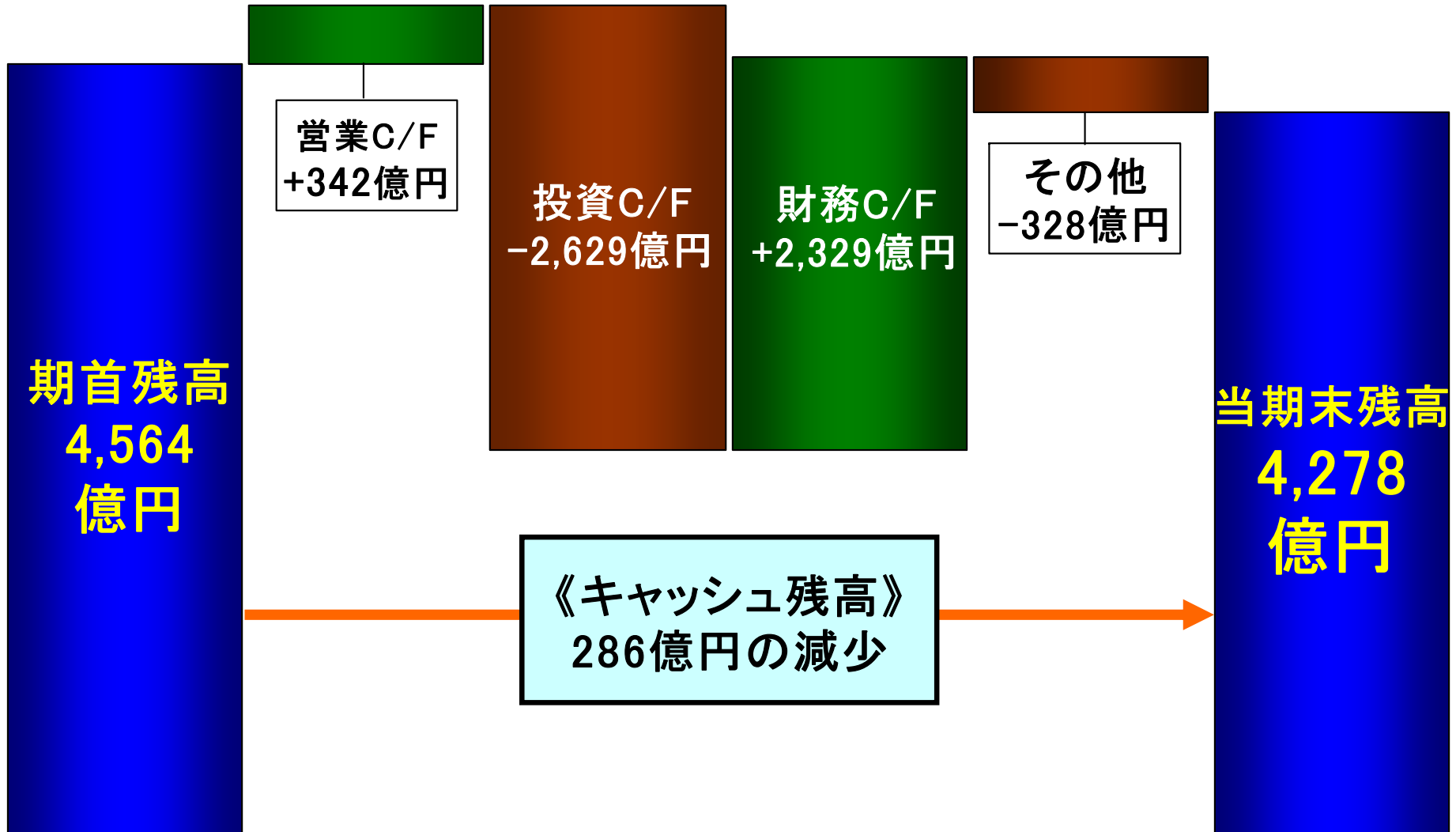
連結：設備投資額

(主要関連会社の設備投資を含む)



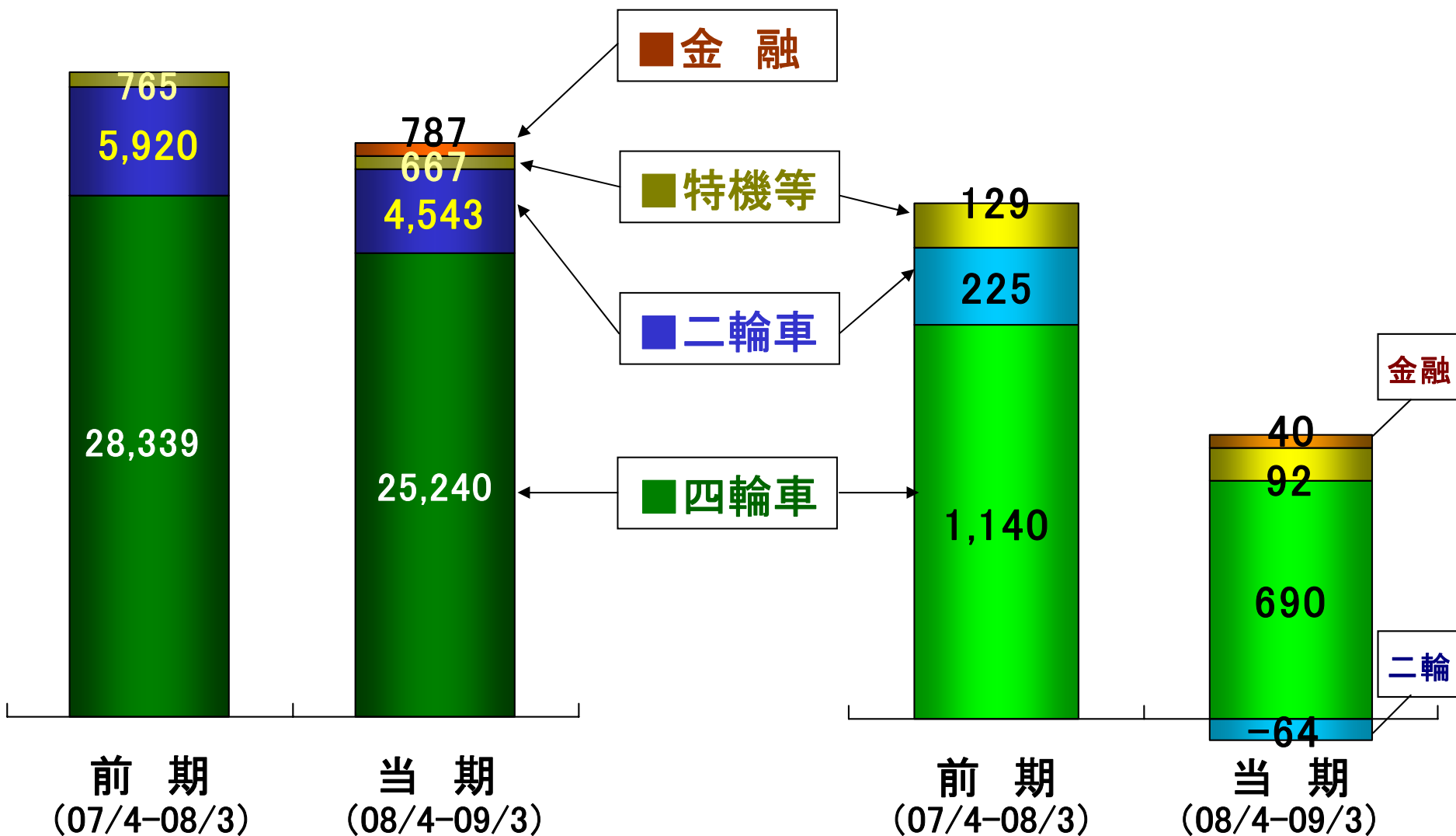
連結：減価償却費、研究開発費 有利子負債残高

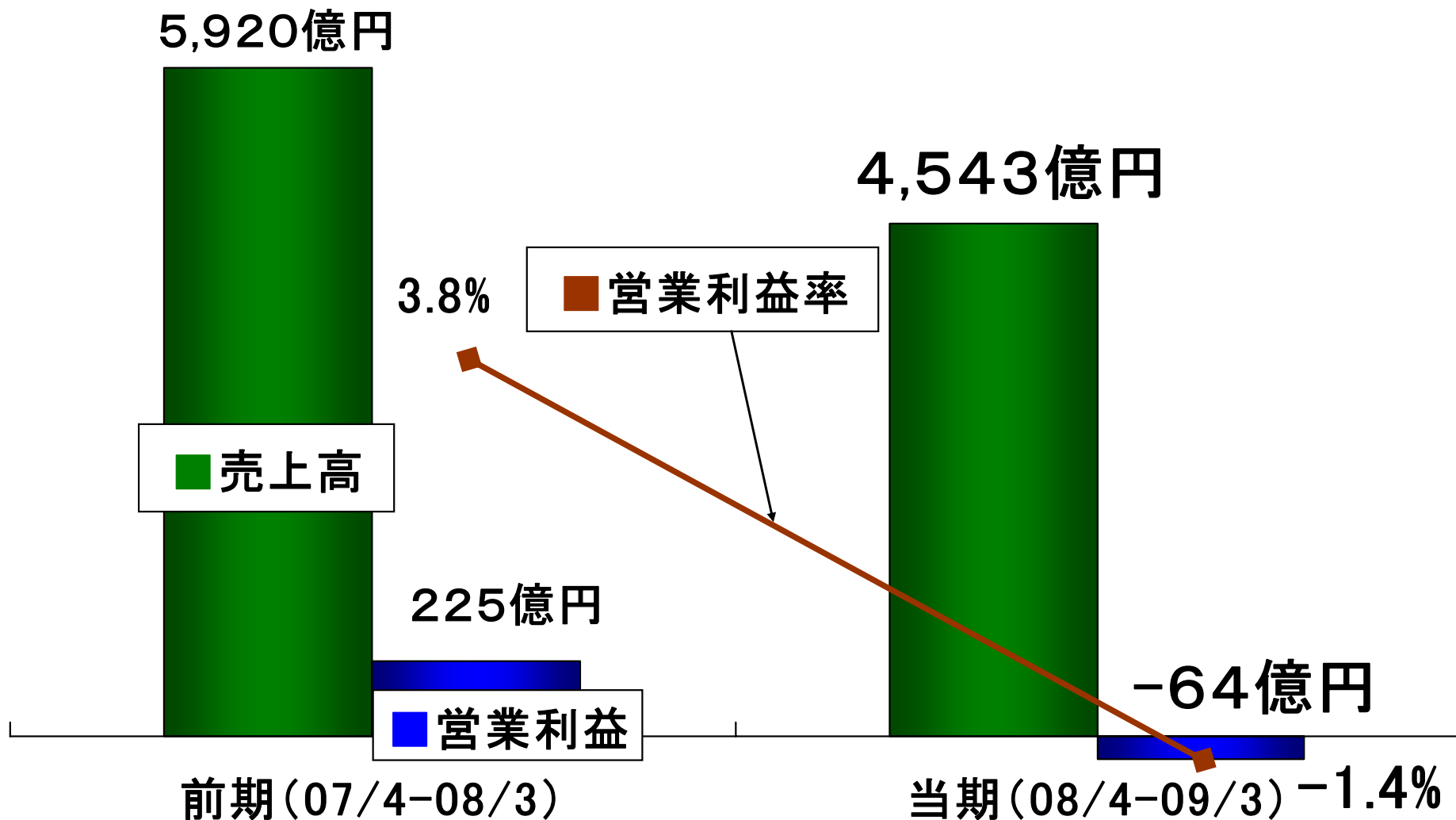


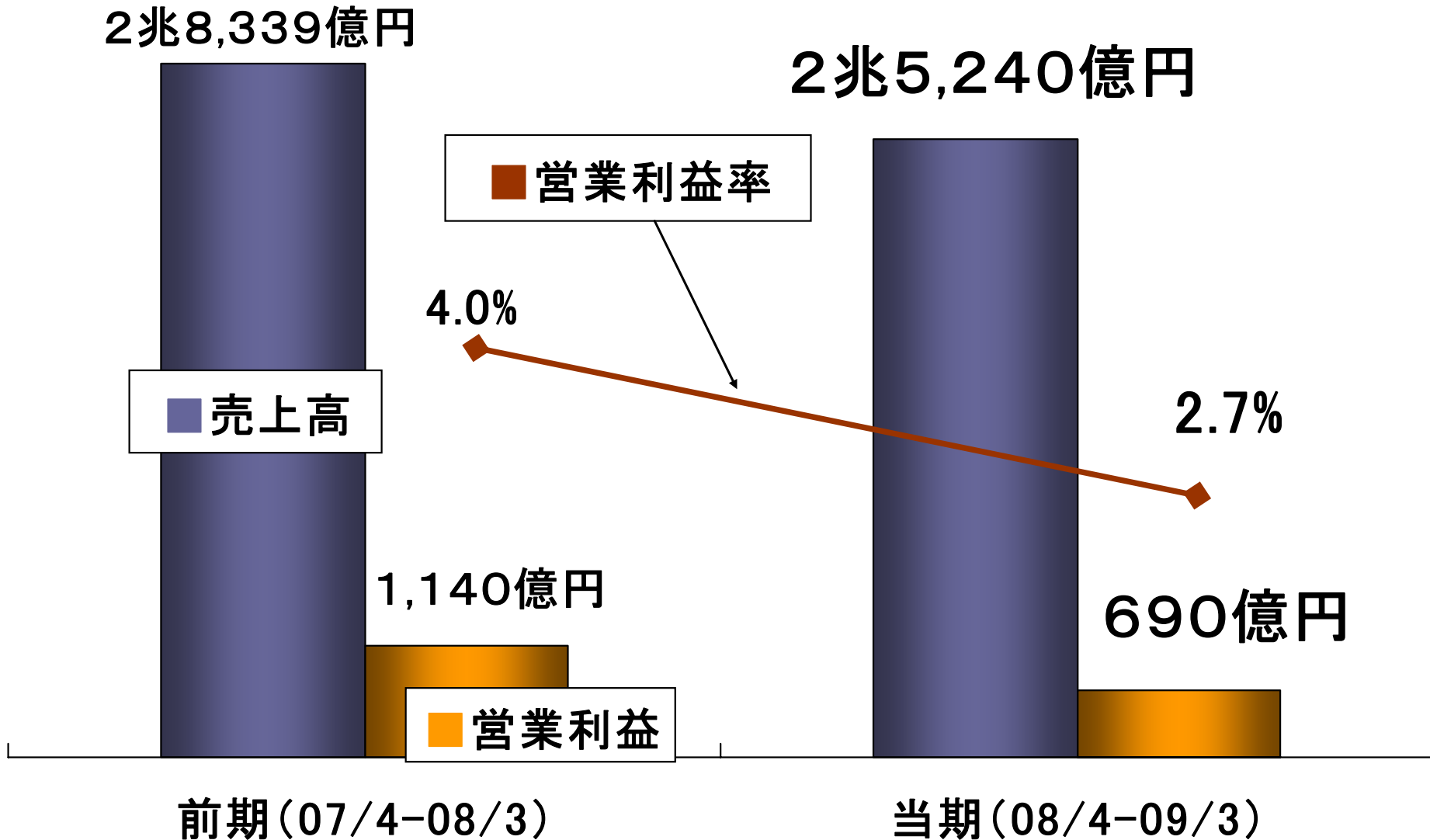


売上高 (億円)

営業利益 (億円)









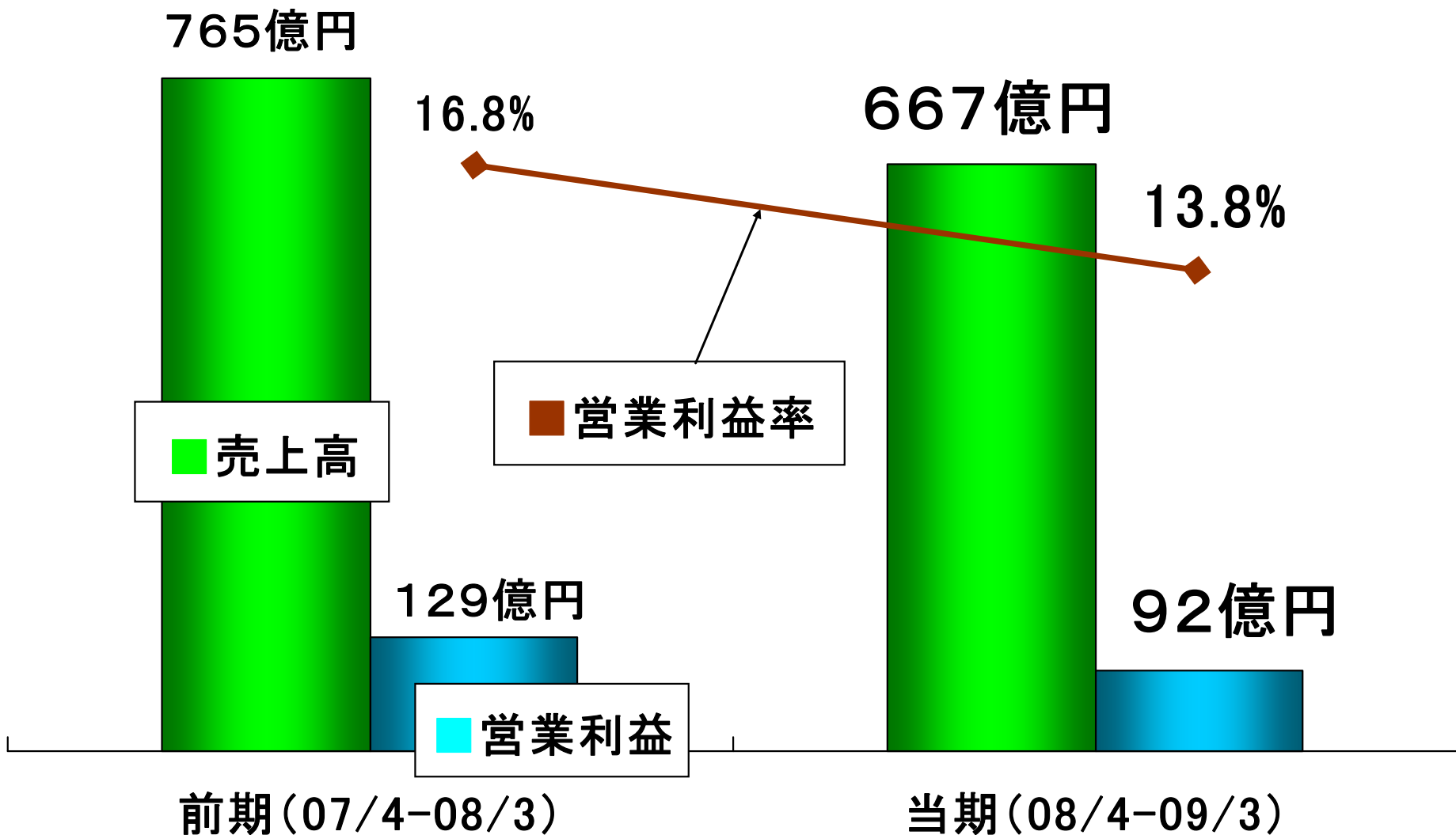
軽自動車 ワゴンR



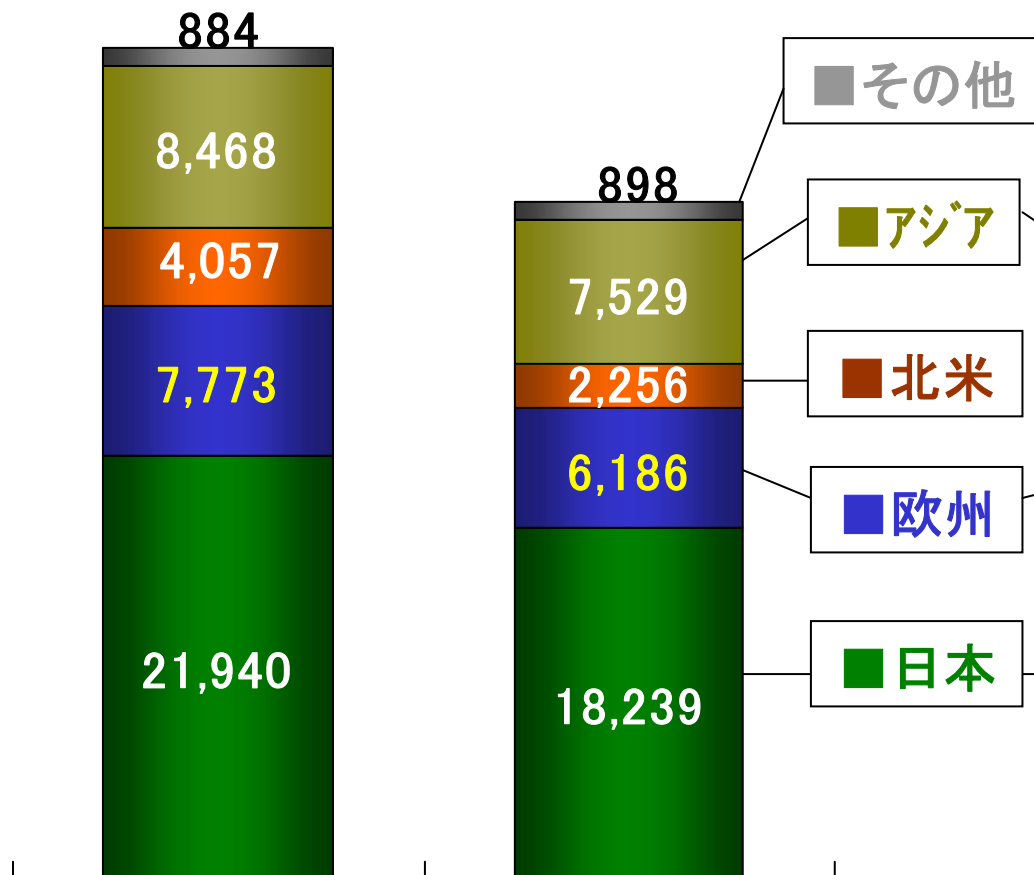
スプラッシュ



A-star (インド)



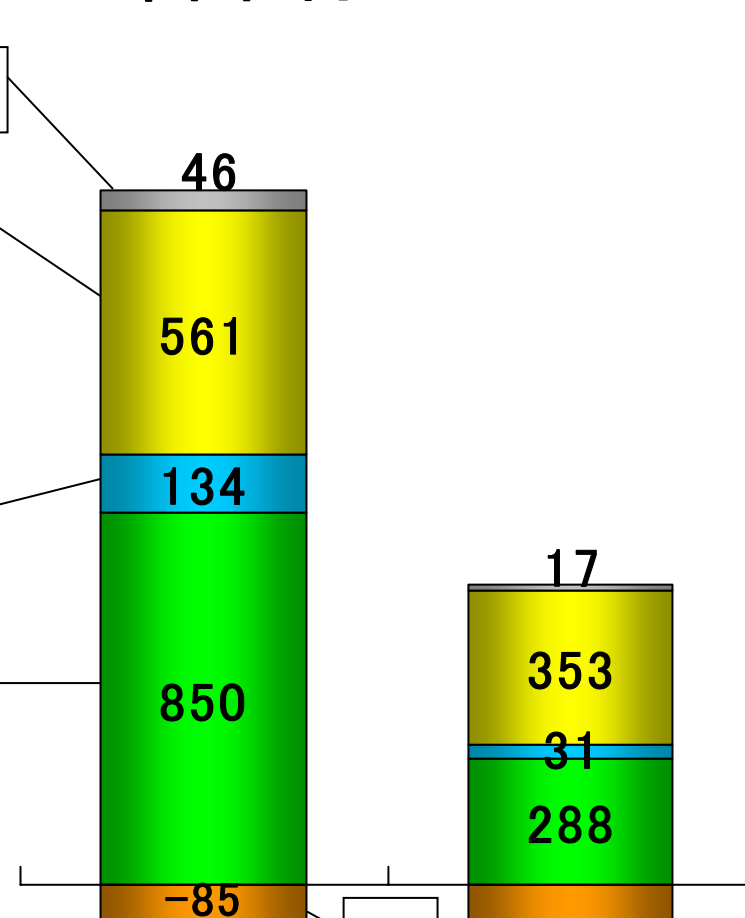
売上高 (億円)



前 期
(07/4-08/3)

当 期
(08/4-09/3)

営業利益 (億円)

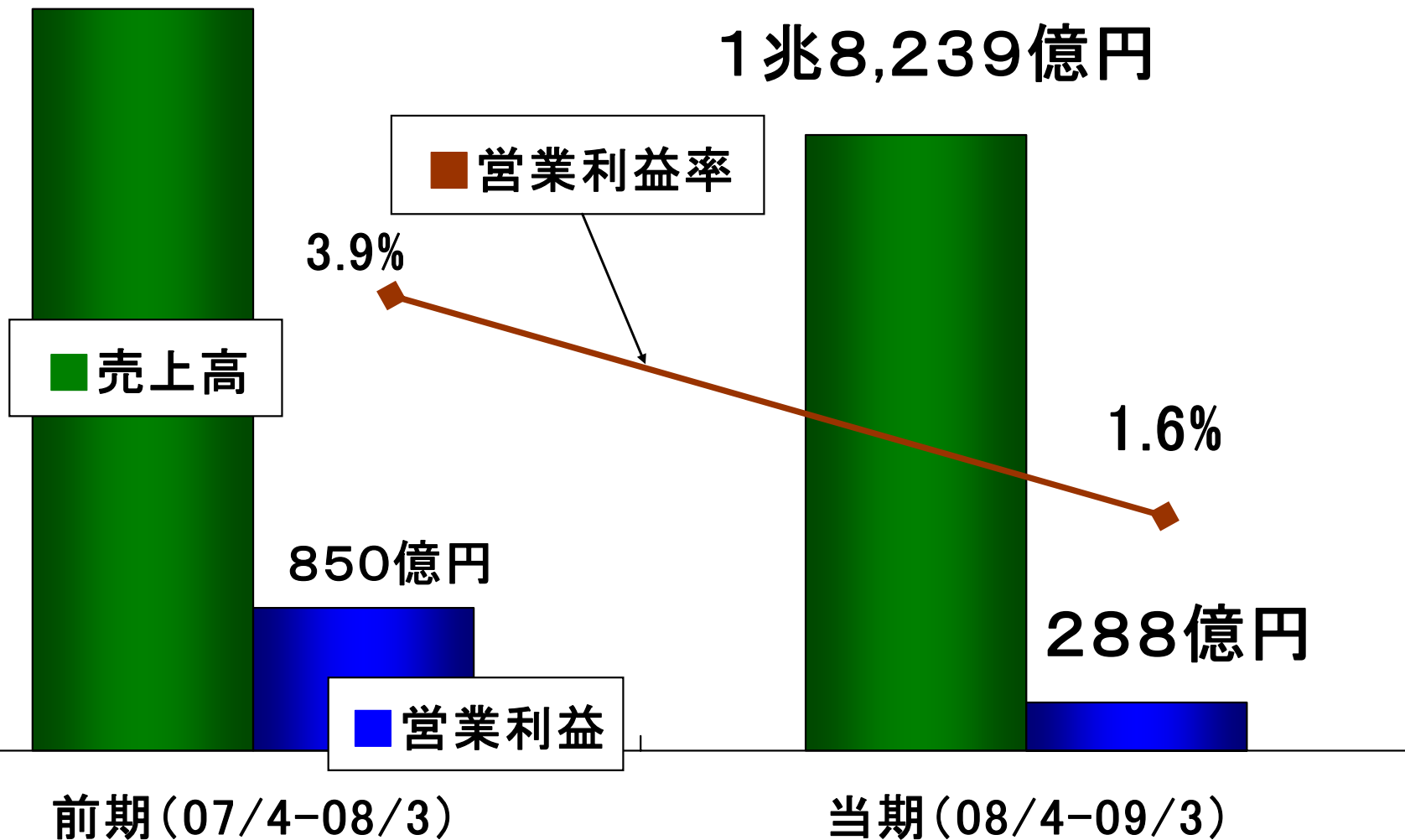


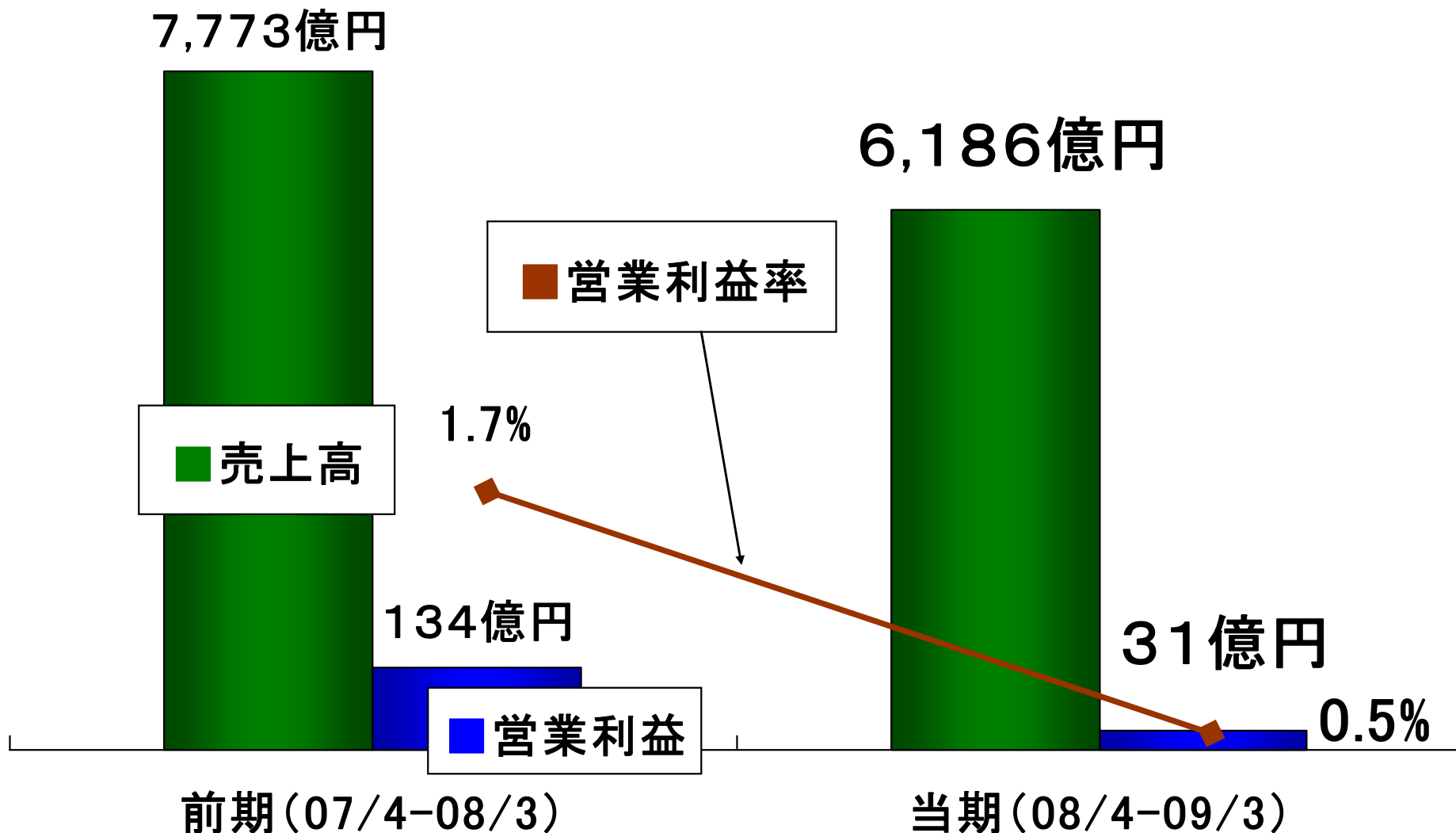
前 期
(07/4-08/3)

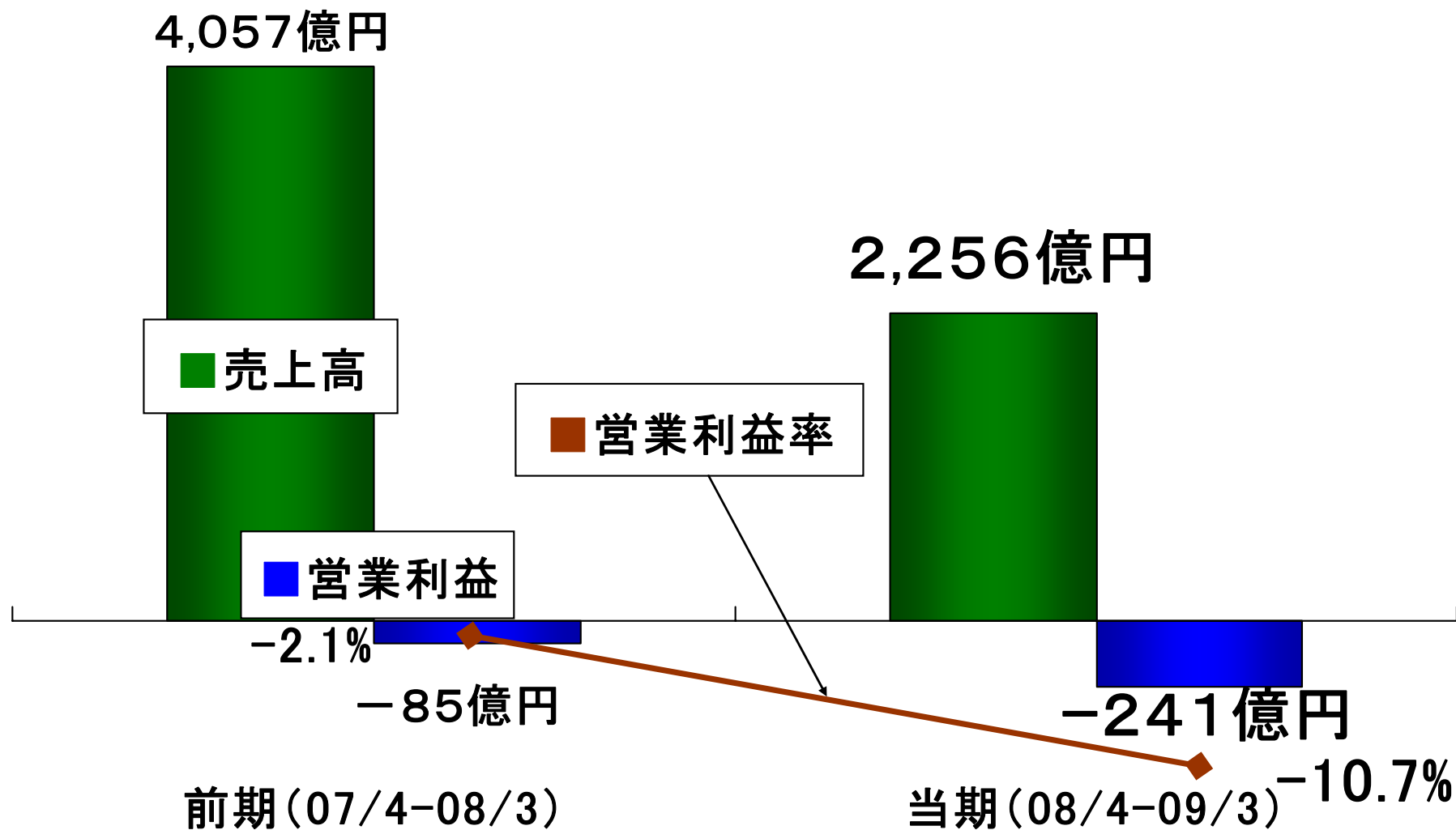
当 期
(08/4-09/3)

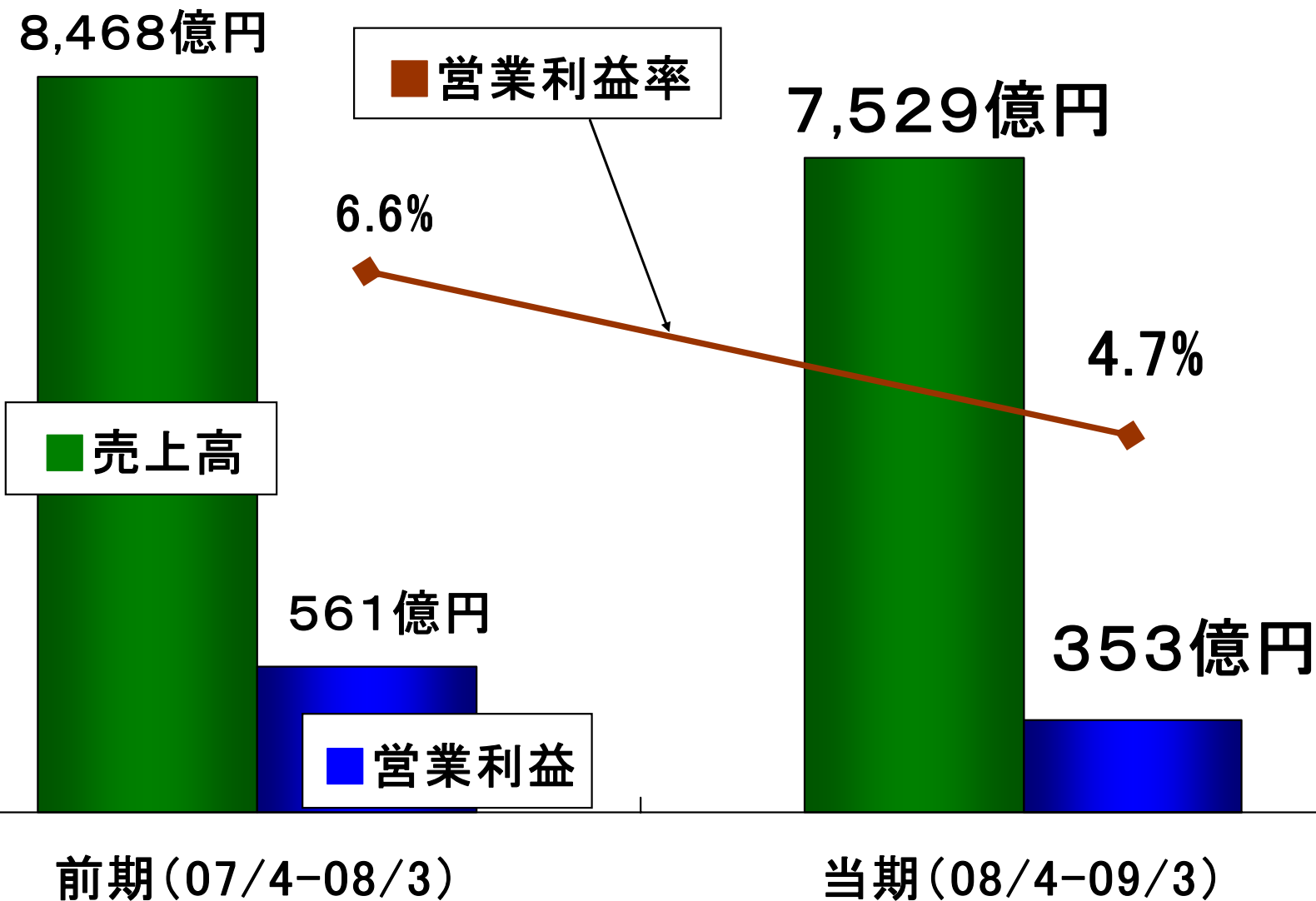
2兆1,940億円

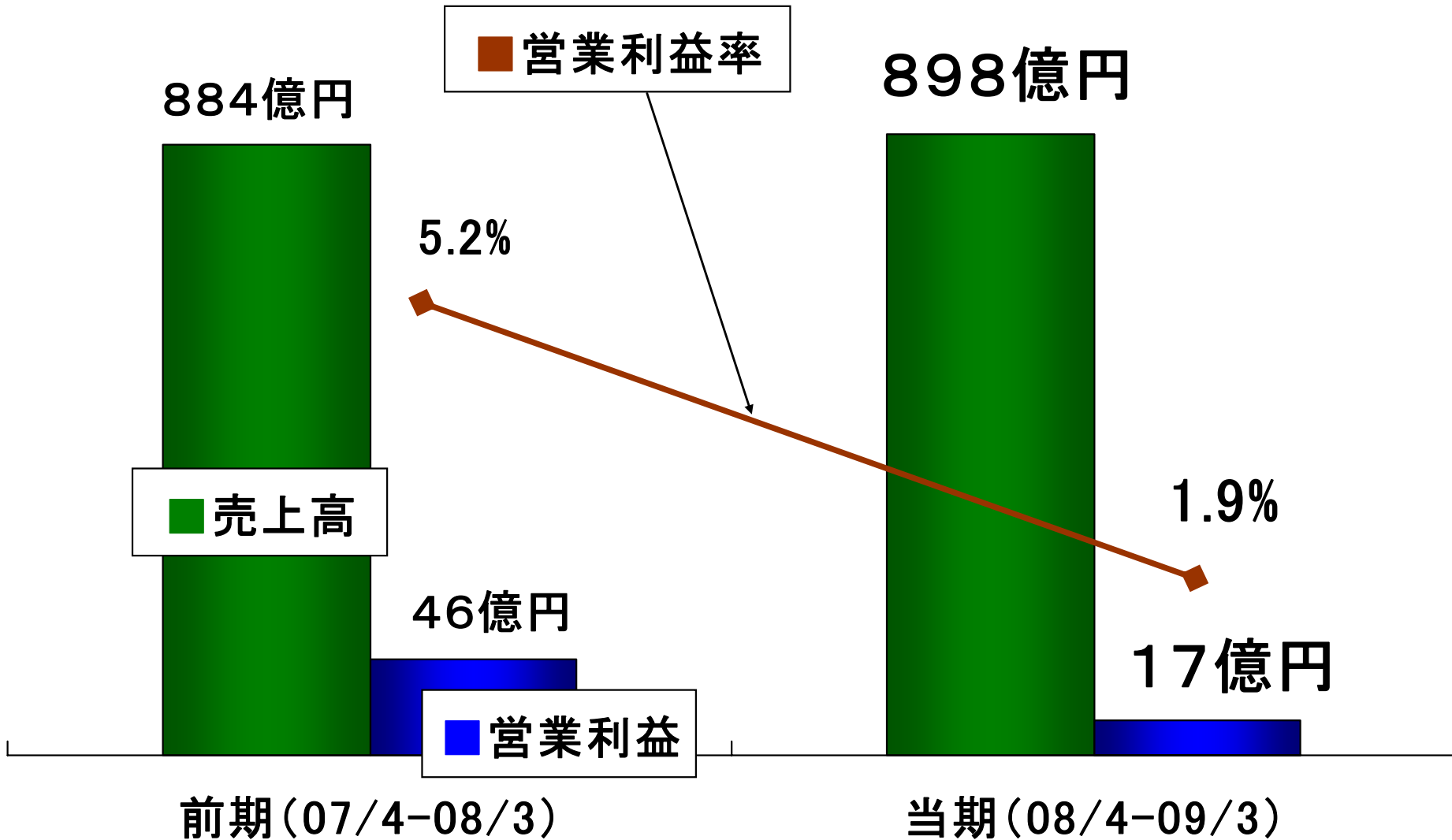
1兆8,239億円

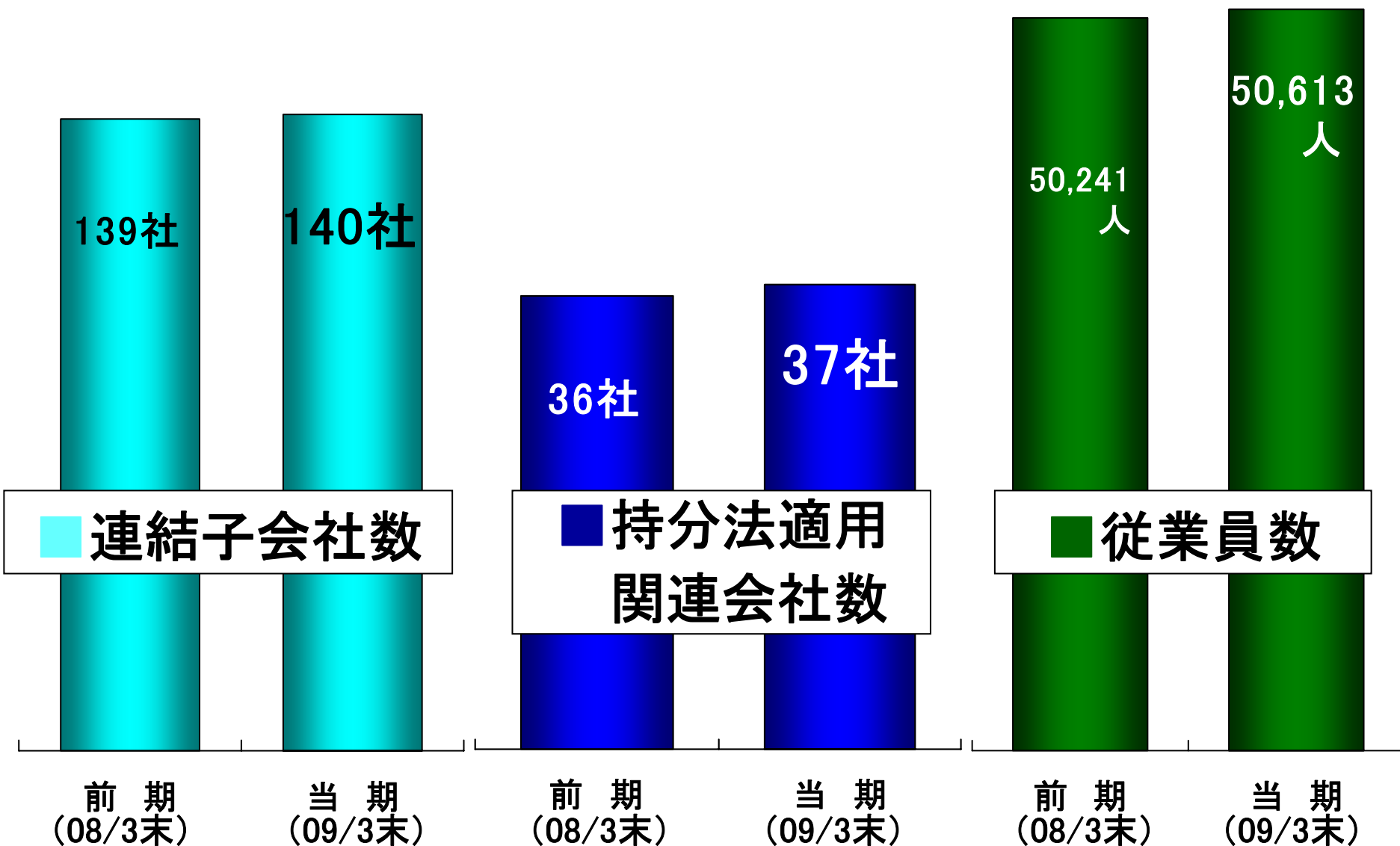




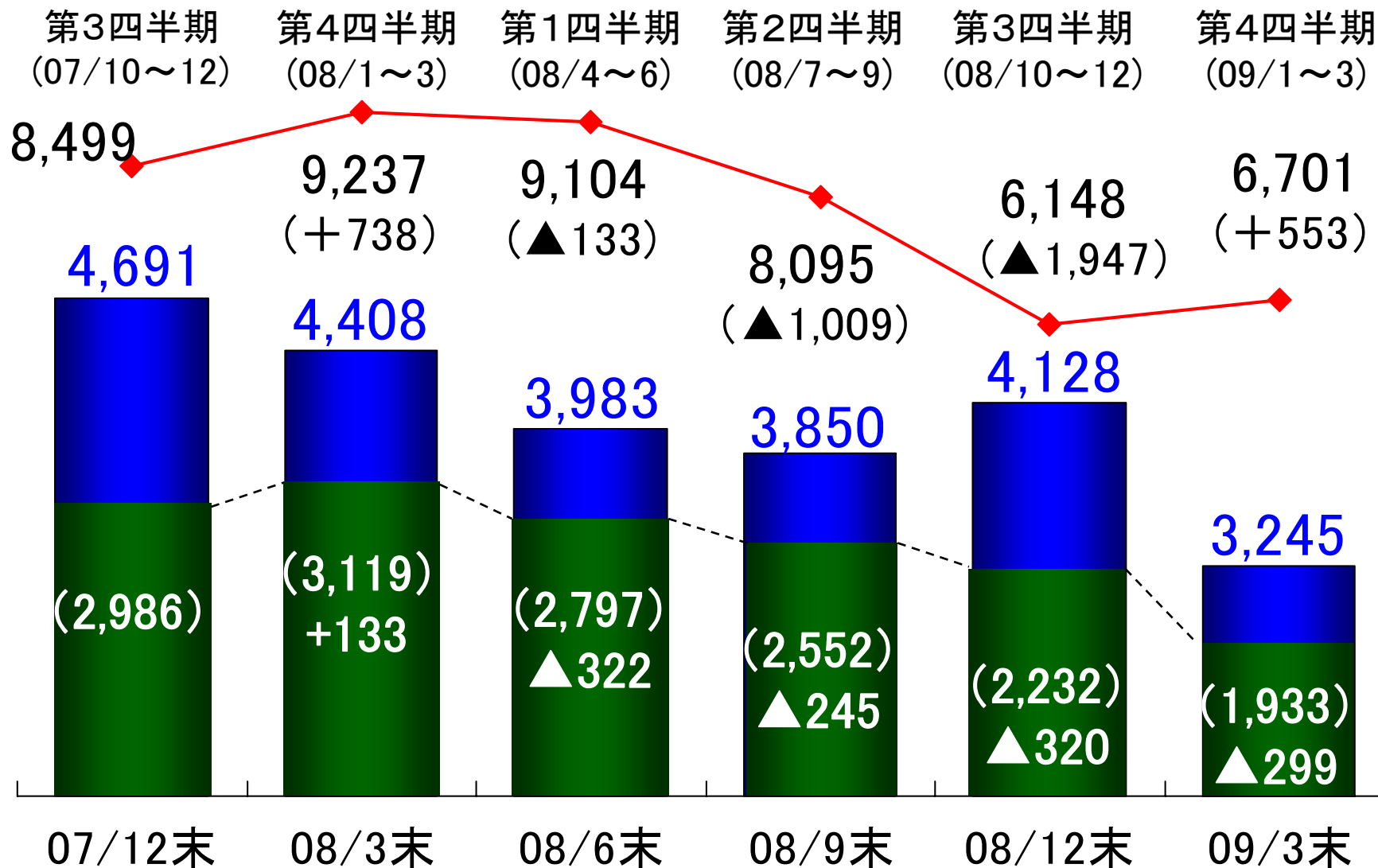






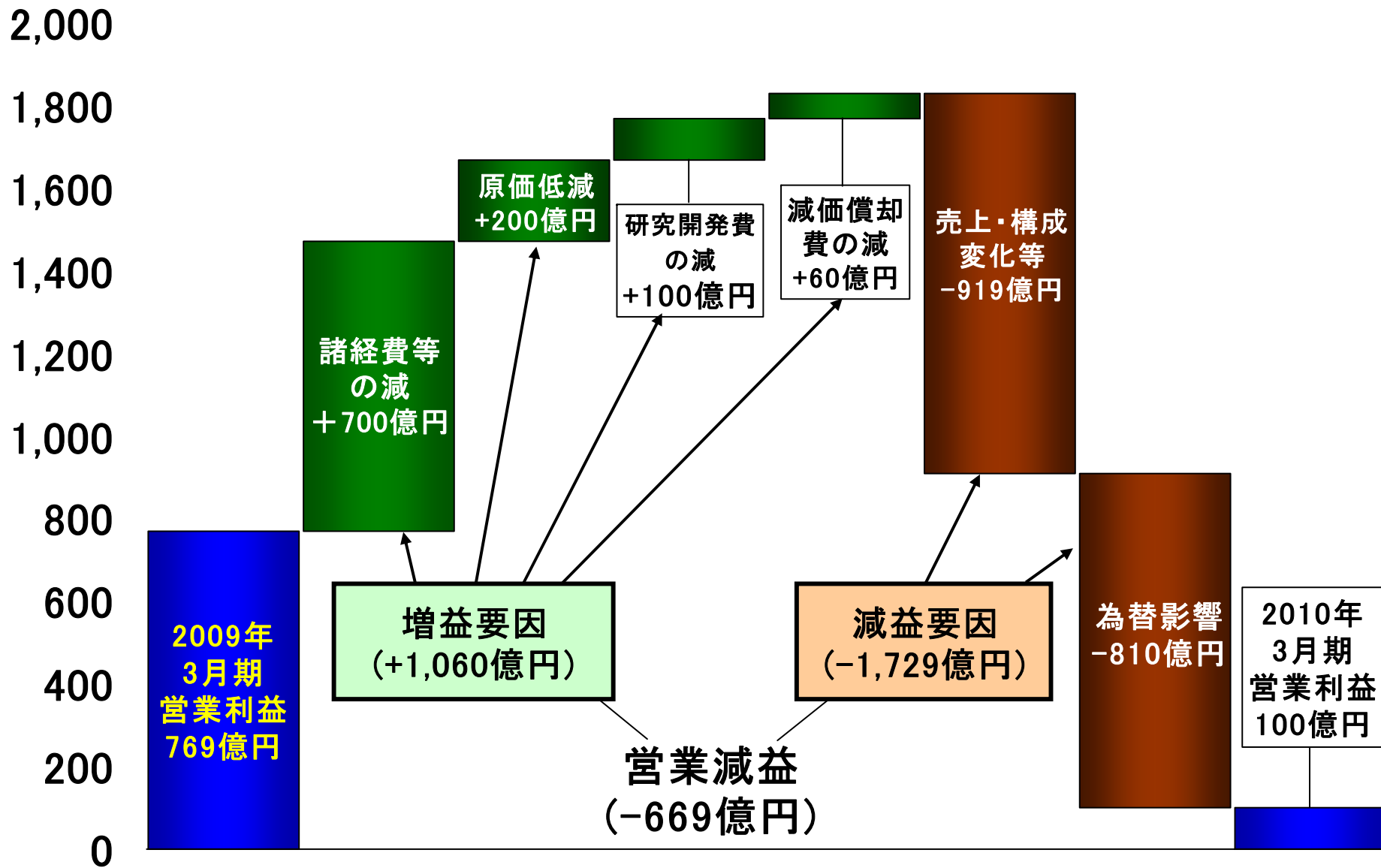


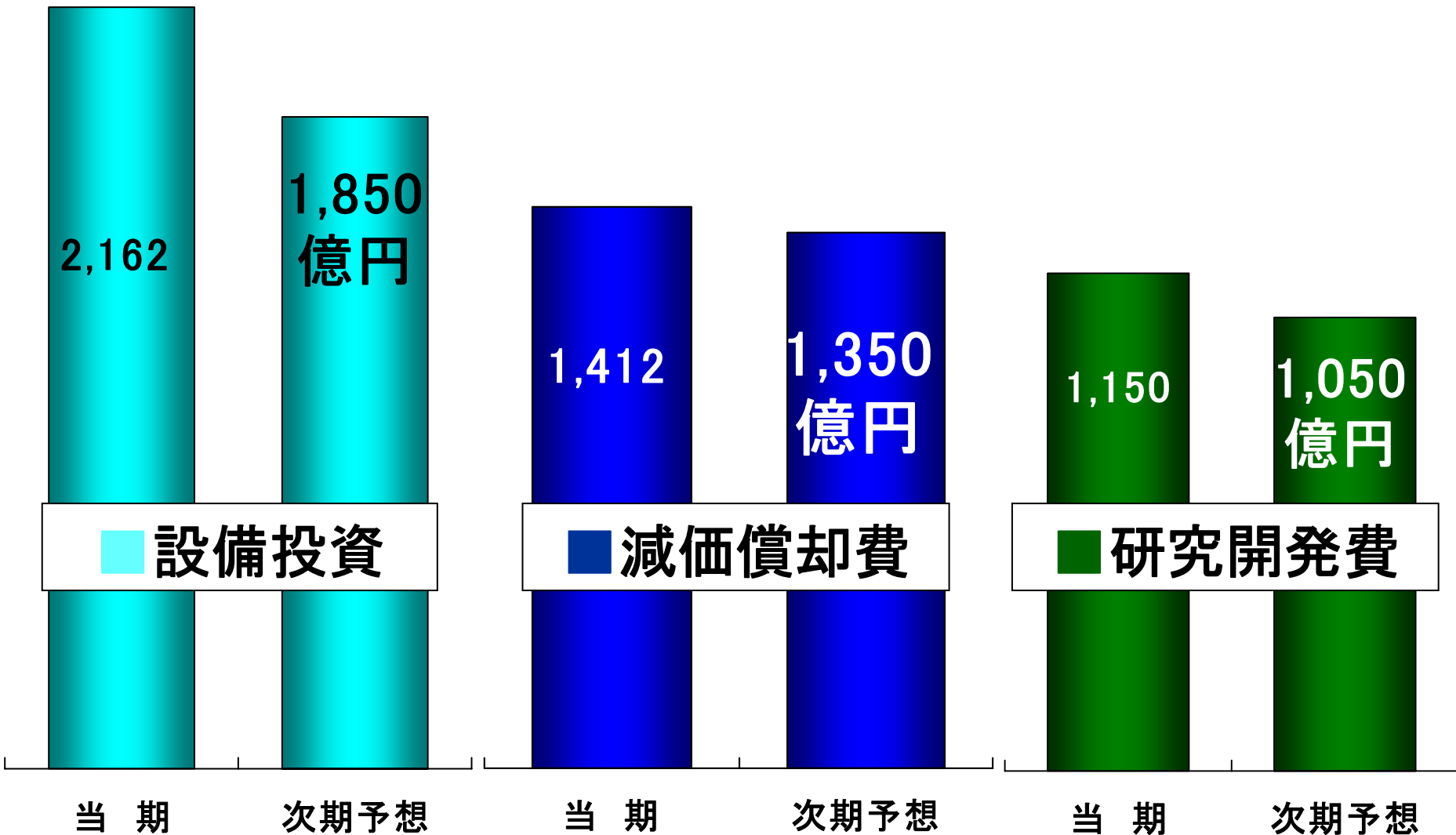
◆ 売上高 ■ 在庫金額 ■ うち海外在庫（億円）

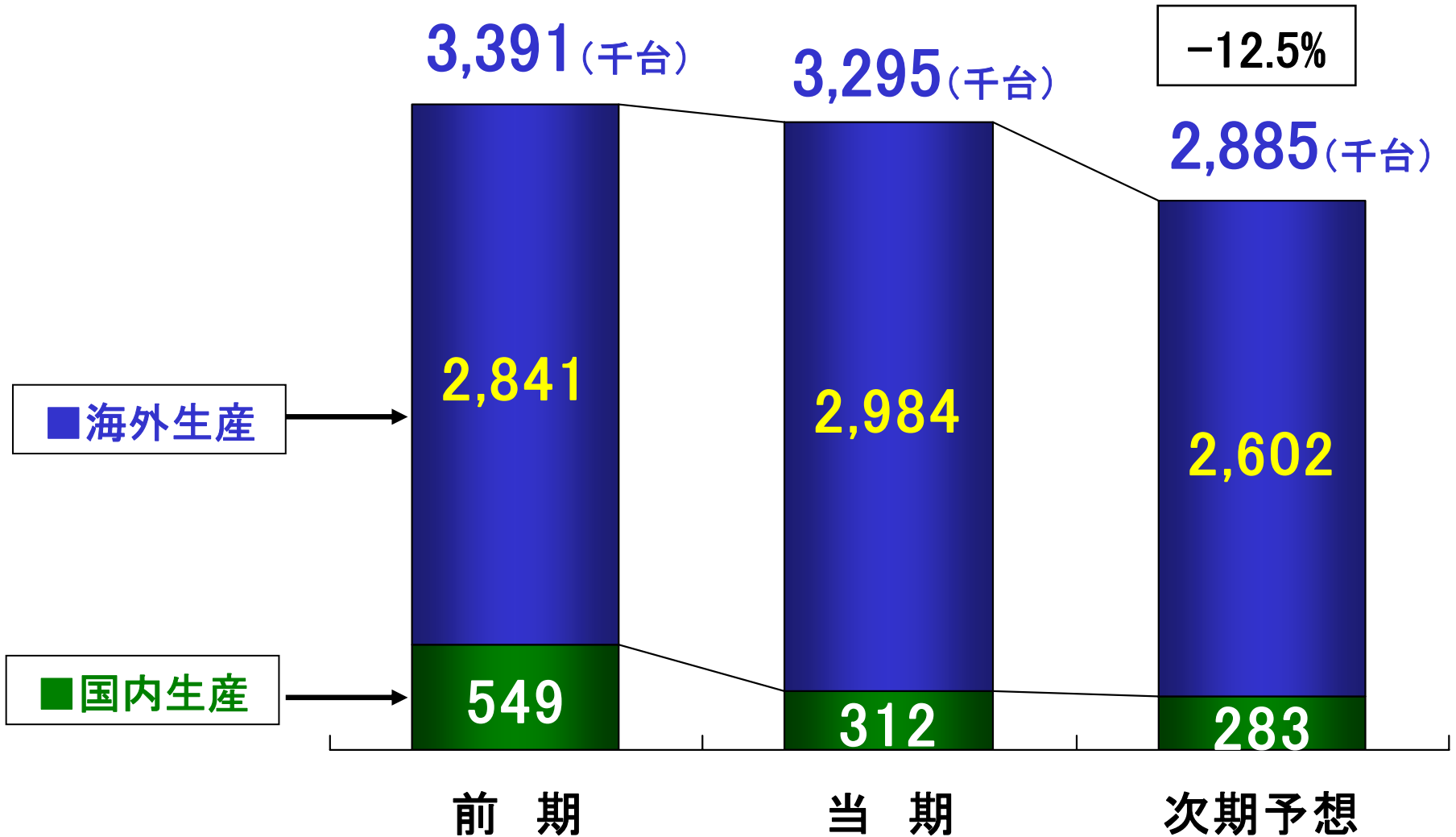


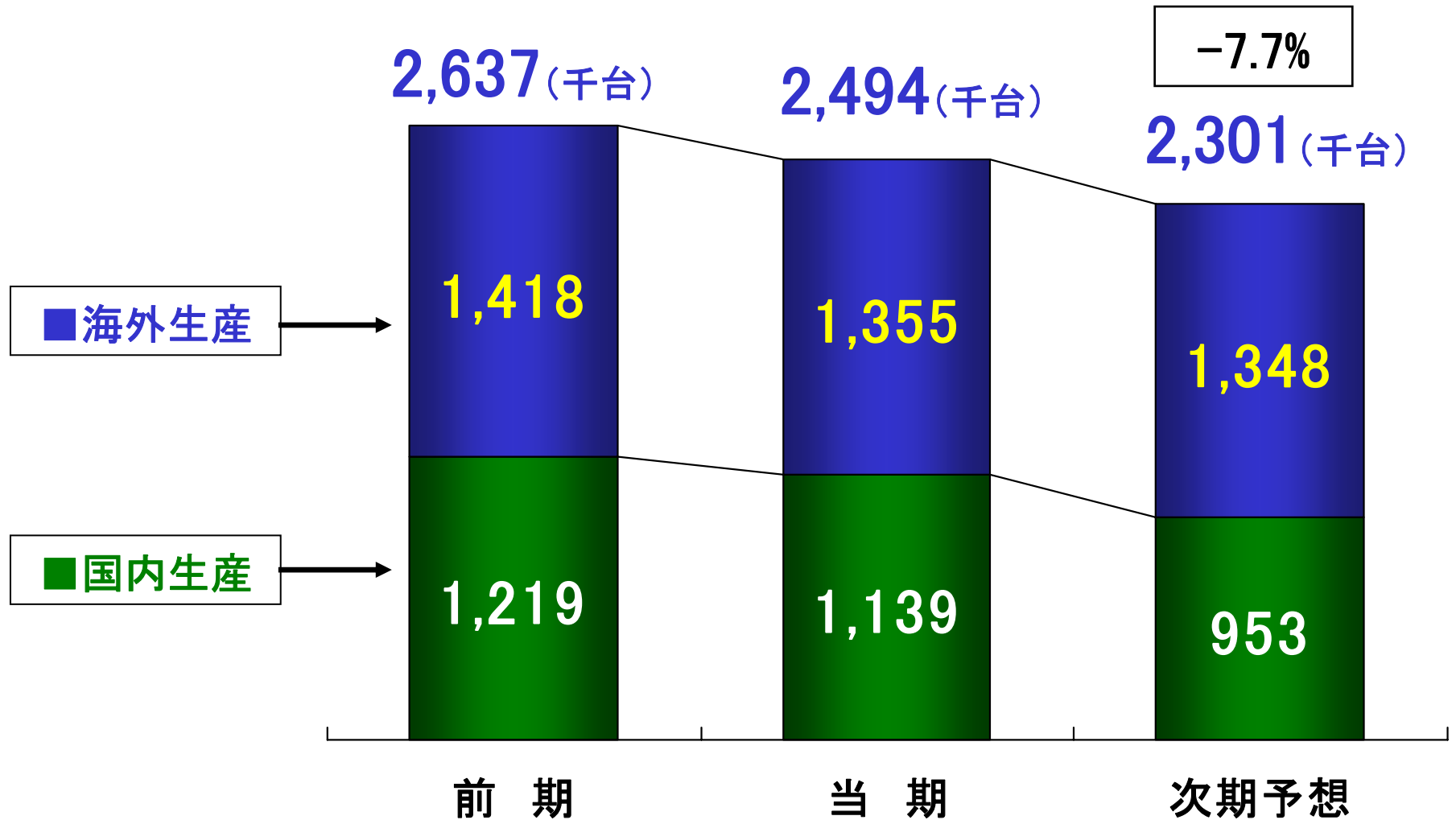
減収、減益

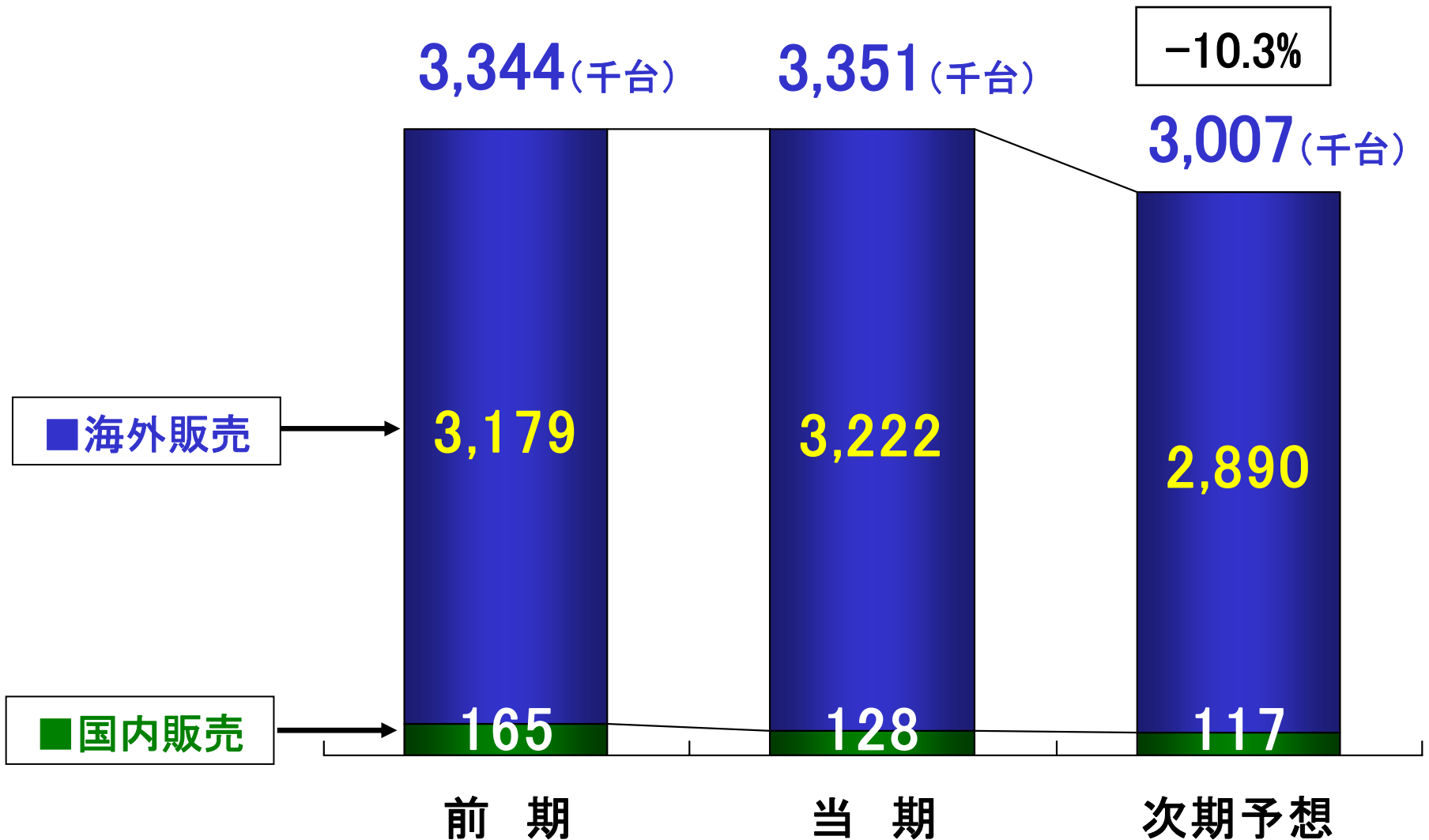
	次期予想	当期実績
売上高	23,000 億円	30,048 億円
営業利益	100 億円	769 億円
経常利益	200 億円	797 億円
当期純利益	50 億円	274 億円
為替レート	ドル 90 円	101 円
	ユーロ 115 円	144 円

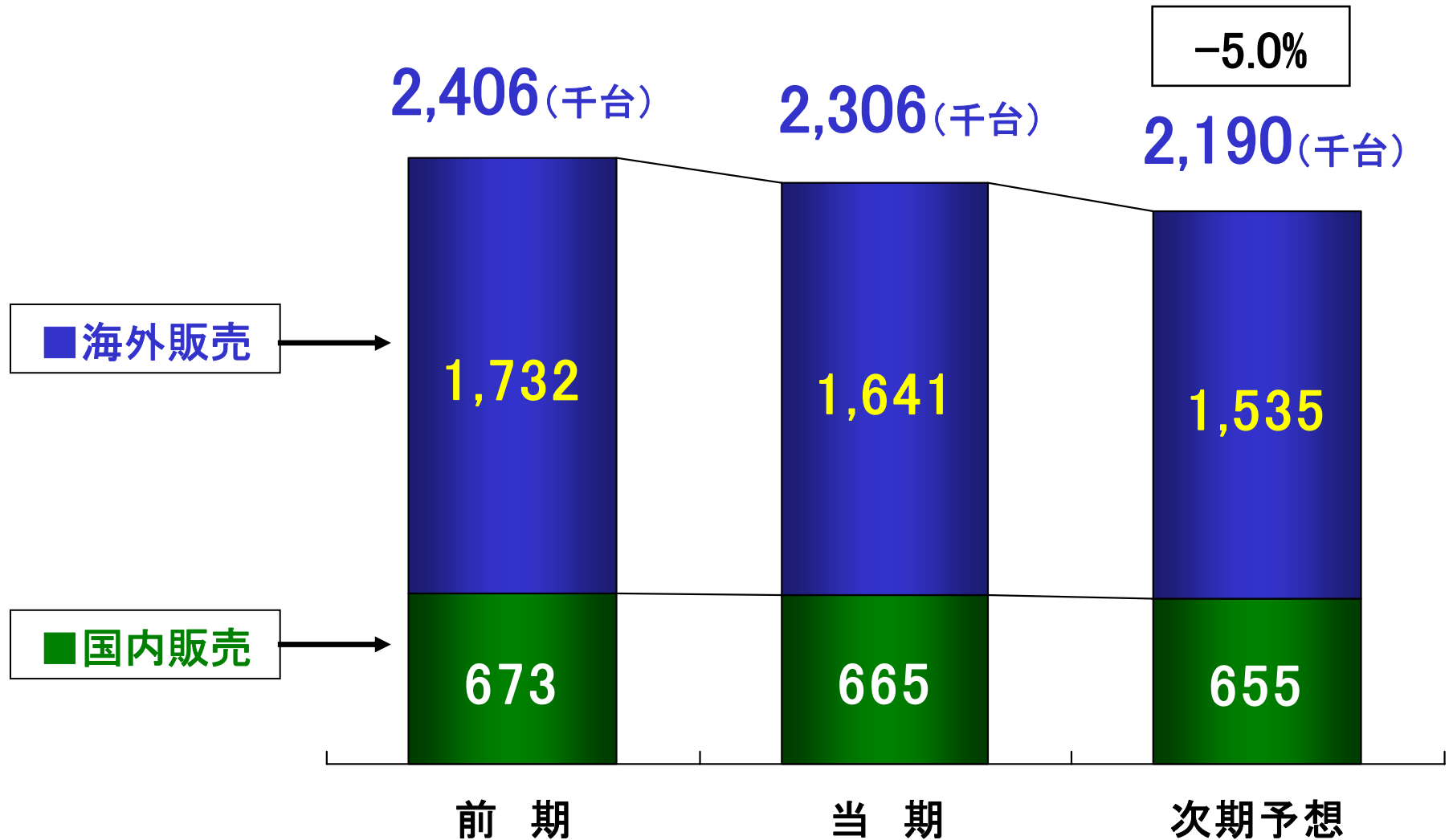


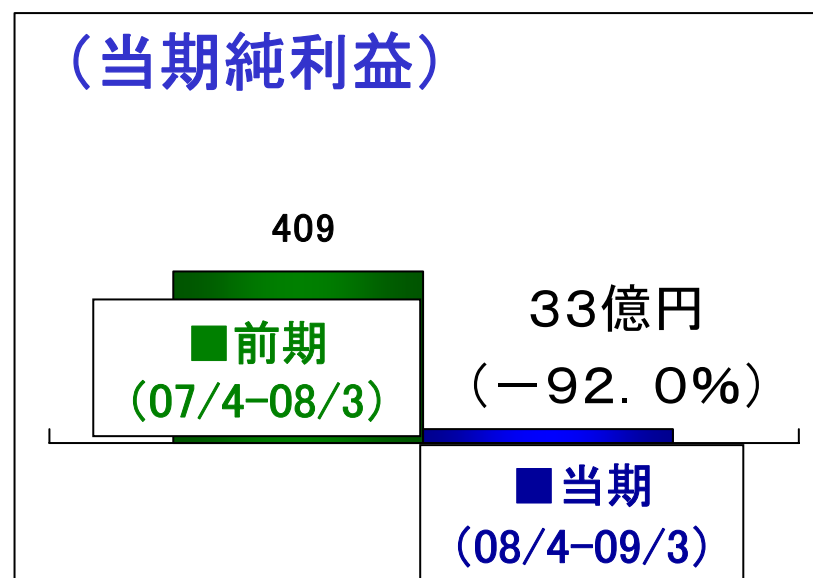
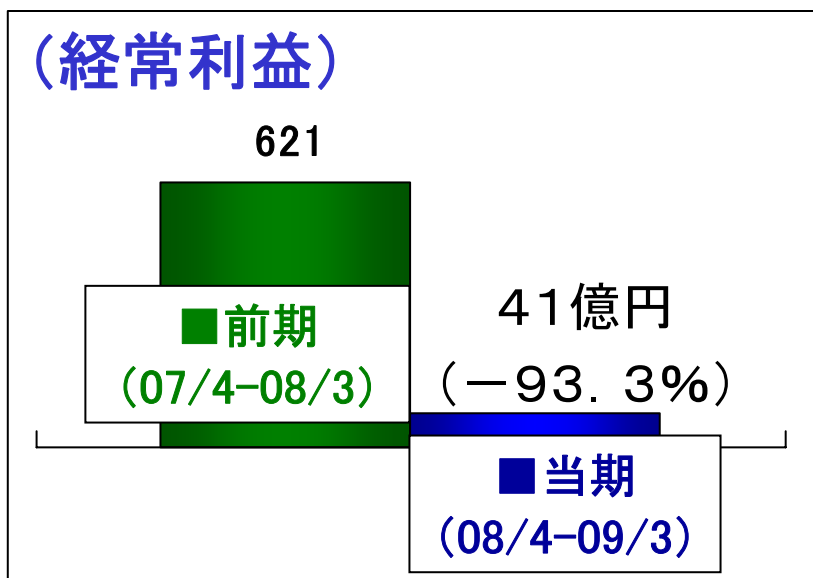
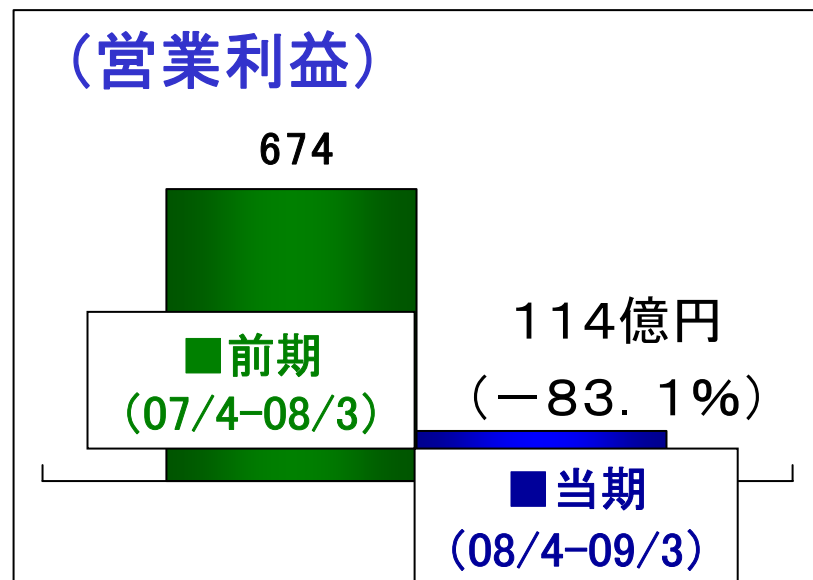
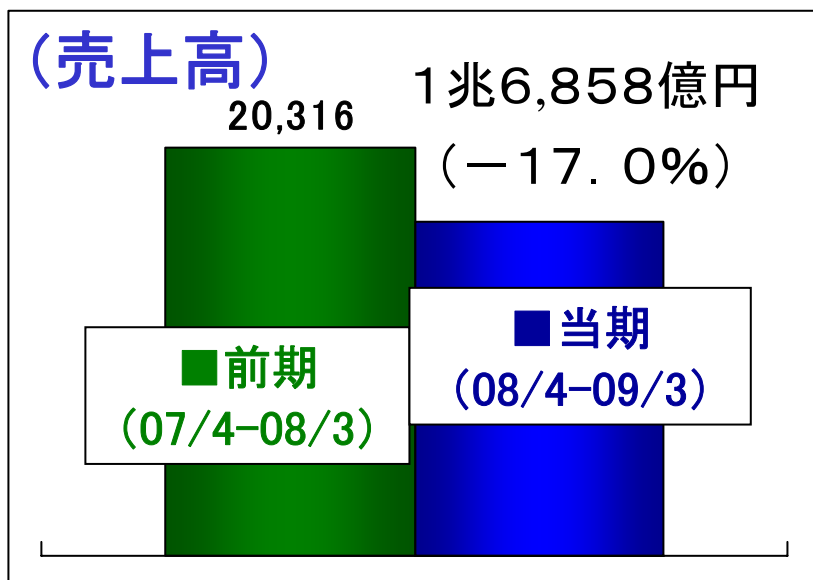












■年間配当金・・・16円(前期実績16円)

中間配当	8円
期末配当	8円

■次期の配当予想・・・未定

2009年3月期決算説明会



スズキ株式会社

次期予想に関する注意事項

※このプレゼンテーション資料に記載した次期予想は、現時点で入手可能な情報及び仮定に基づき算出したもので、リスクや不確実性を含んでいます。

※実際の業績は、様々な要因の変化により大きく異なることがありますことをご承知おき下さい。

実際の業績に影響を及ぼす可能性がある要因には、主要市場における経済情勢及び需要の動向、為替相場の変動(主に円／米ドル相場、円／ユーロ相場)などが含まれます。